

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年5月1日（水）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアX
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアXの状況

4 確認結果の概要

今般、福島県沖を震源とする地震が連続して発生^{*}している。そのため、令和4年3月16日に発生した地震の影響で瓦礫類を収納したコンテナの傾き等が確認された瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）の状況確認を順次行っている。

今回は、一時保管エリアXの状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和4年12月1日](#)）

なお、福島第一原子力発電所の構内には、30か所以上の一時保管エリアが点在しており、瓦礫類を表面線量率に基づいて分類し、保管している。今回確認した一時保管エリアXは、保管する瓦礫類の受入目安表面線量率を1 mSv/hとしている（福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画）。

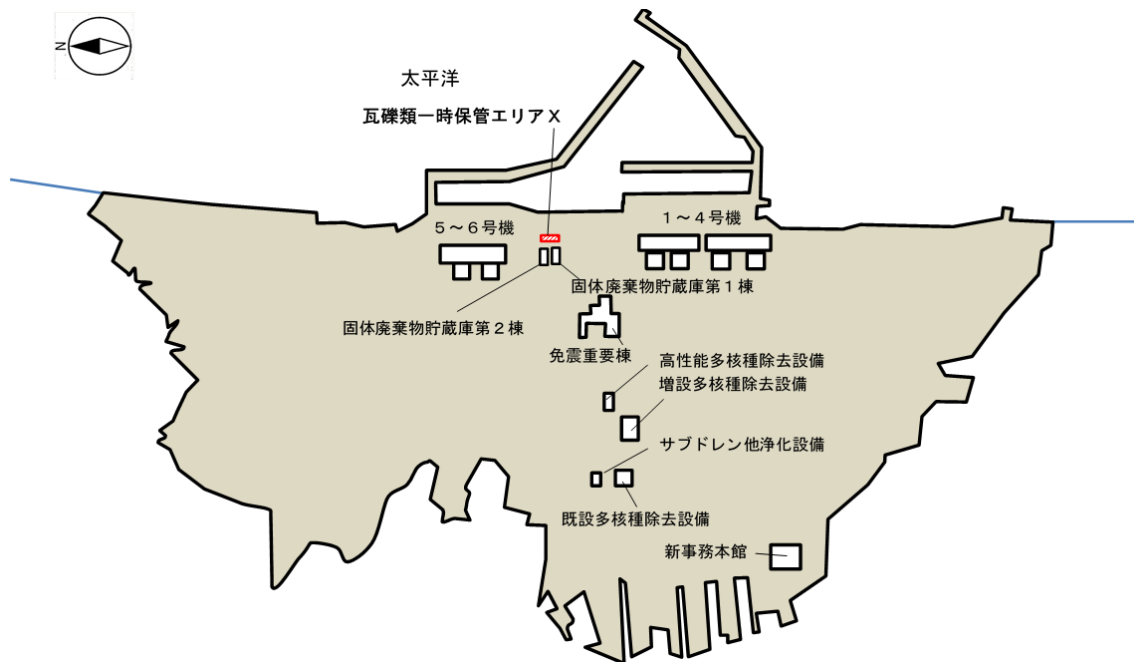
- ・一時保管エリアXには、6 m³コンテナ及びノッチタンクが保管されていた。6 m³コンテナやノッチタンクは、仮置きしている一部のものを除き、耐候性シートにより養生されていた。（写真1）
- ・確認した範囲では、コンテナに転倒や傾きは確認されなかった。また、内容物の飛散や流出も確認されなかった。

※ 今般の福島県沖を震源とする地震の発生状況

3月13日午後 8時24分頃 マグニチュード4.7 立地町震度3

3月15日午前 0時14分頃 マグニチュード5.8 立地町震度4

3月17日午前 6時17分頃 マグニチュード5.4 立地町震度4



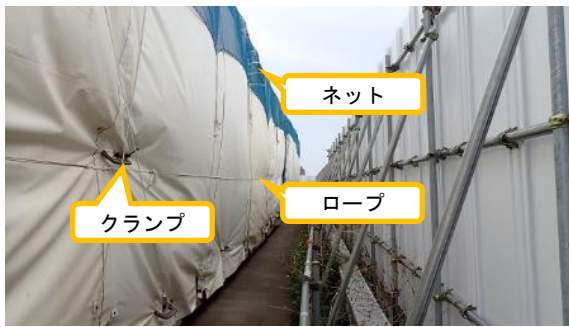
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリアXにおけるコンテナ及びノッチタンクの保管状況①



(写真1-2)
一時保管エリアXにおけるコンテナ及びノッチタンクの保管状況②



(写真1-3)

一時保管エリアXにおけるコンテナ及びノッチタンクの保管状況③
※耐候性シートは、クランプ、ネット、ロープ等により固定されている

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。